

第51期 中間事業報告書

平成14年3月1日～平成14年8月31日

つねに変わり続けるマルエツ
すべては、お客様ひとりひとりの笑顔のために



Maruetsu

株主の皆さまへ



株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに第51期の営業概況ならびに中間決算の内容と今後の展望についてご報告いたします。

●当中間期の取り組み

わが国経済は、依然として景気回復に不透明感が残るものの、個人消費については若干の下げ止まり感がみられました。しかし小売業におきましては、お客様の安心・安全に対するニーズの高まりをとらえた取り組みが求められるなど、大変厳しい経営環境が続きました。

このような状況の下、当社は「お客様の健康と食文化を創造する快適生活創造企業」をめざし、「健康」「安心、安全」「環境」の側面から様々な取り組みを行い、地域になくてはならない「地縁ストア」づくりに努めてまいりました。

営業施策につきましては、11店舗の全面改装をはじめとした33店舗の売場やサービスの見直しを計画的に実施するとともに、ライフスタイルの変化に対応した深夜営業店舗など営業権の拡大に取り組みしました。店舗につきましては、フーデックス六本木本店（東京都）、潮見店（東京都）の2店舗を開設し、経営資源の効率化のため、関原店（東京都）、豊春店（埼玉県）の2店舗を閉鎖いたしました。

商品面におきましては、「上・中・並」「小・中・大」の選べる品ぞろえのご提供を徹底し、お客様の安心、安全な商品のご要望にお応えするために、精肉部門と鮮魚部門の一部に、生産履歴の開示を進めてまいりました。「Dr.元氣^{ドクター}」をイメージキャラクターとした健康関連商品の売場展開も更なる充実を図りました。

また、品質重視のプレミアムブランド『FOODeX（フーデックス）』『HOMEeX（ホームェックス）』は、現在65品目となり、

「盲導犬育成募金活動」を 全店で実施しています。

ご利用いただくお客様の関心の高さから、当社でお預かりした寄託金は全国でも有数の募金額となりました。



2002年7月 全国盲導犬育成連合会より感謝状をいただきました。

着実にお客様の支持をいただいております。

環境・社会貢献活動につきましては、地域のお客様のご協力により、「リサイクル資源の回収」「お買物袋持参運動」とも前年を上回る結果となりました。1993年より開始した「盲導犬育成募金活動」は本年6月で70万円を越え、全国盲導犬施設連合会より感謝状をいただきました。

高齢者やからだの不自由な方のお買物のお手伝いをさせていただく「サービス介助士」の育成にも積極的に取り組み、快適にご利用いただけるよう、商品、サービス、施設などの充実を図ってまいりました。

●業績の状況

以上の結果、当中間期の単体決算につきましては、営業収益は1,629億13百万円(前期比104.5%)、経常利益は25億12百万円(前期比113%)、当期利益は12億46百万円(前期比202.8%)となりました。

連結決算につきましては、営業収益は1,856億55百万円(前期比117.1%)、経常利益は27億13百万円(前期比113.8%)、当期利益は13億15百万円(前期比185.4%)となりました。サンデーマート株式会社は新店4店舗、株式会社ポロロッカは新店2店舗を開設し、小売部門トータルの営業基盤拡大により、単体、連結ともに増収増益となりました。

●今後の展望

厳しい雇用環境や企業業績から、個人消費の回復に対する懸念も払拭しきれず、小売業界では以前にも増して厳しい経営環境が続くものと思われれます。

このような状況の下、当社はグループとして「リージョン10(首都圏のフーズマーケットシェア10%をめざす)」という将来的なビジョンを掲げ、地域のお客様に愛され、信頼され

る店づくりに挑戦してまいります。“For the Customers”の経営理念のもとグループ一丸となり、多様化するお客様ニーズに応えてまいります。

新店につきましては、9月に発表させていただいた、株式会社ユニリビングより営業を譲り受けた7店舗を含め、通期で12店舗の開設を予定しております。当期末には単体で200店舗を越える見込みとなりました。

また、各種法令の遵守とオネストな商売を徹底し、お客様の信頼を回復するために、食品表示については「自主基準」を作成し、あいまいな表示や表現の撤廃に向けて具体的に取り組んでまいります。教育施策につきましては、常にお客様の変化に対応できる人づくりに努めてまいります。株式会社ライフコーポレーションとの教育事業の新会社「株式会社日本流通未来教育センター」を軸に、従業員の技能、知識、士気の育成に力を注いでまいります。

通期のマルエツ単体の営業収益は3,260億円、経常利益は50億円、当期利益は24億円を見込んでおり、連結では、営業収益は3,700億円、経常利益は54億円、当期利益は26億円を見込んでおります。

尚、配当につきましては、期末に前期間配当額と同額の1株あたり12円を予定しております。

社会とお客様の掛け橋としての役割を果たし、地域社会の一員として、良き企業市民として、自覚と責任を持って積極的に取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます

平成14年11月
代表取締役社長

吉野平一郎



お客様の“声”を生かしています。

地域のお客様のご意見・ご要望を、次の一歩へ結びつけています。「店長への直行便」「お客様モニター懇談会」などを通じていただいた“声”を店づくりに生かしています。

安心、ゆったり、買物をお楽しみいただけるように、レジ周りを広く改装いたしました。

